



The Service Club for the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチェ(韓国)
アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか? 大久保知宏 (宇都宮)
あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)
甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進! 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2021年 11月 会報

●今月の強調目標

ASF

■ ■ ■ 今月のことば ■ ■ ■

天衣無縫

根津 宏次 君 選

今月の例会案内

日時：2021年11月9日(火) 18:45～20:30
会場：ホテル談露館
担当：地域奉仕委員会 司会：石川 健 君

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

＝不易流行(ふえきりゅうこう)＝

地域奉仕委員会委員長 小倉 恵一

プログラム

- ・開会点鐘 石川 和弘 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 石川 和弘 会長
- ・今月のことば 根津 宏次 君
- ・食前感謝 小倉 恵一 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話
「子どもに寄りそうチャイルドケア事業」
山梨YMCAチャイルドケア事業部ディレクター 中田 純子 様
- ・チャリティーランについて 渡辺 徳之 君
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 石川 和弘 会長

講師プロフィール 中田 純子 様

横浜市生まれ、横浜市の社会福祉法人等で保育士・児童指導員として勤務の後、2004年山梨へ移住。県立わかば支援学校、盲学校に勤務。2013年山梨YMCAに入職、児童発達支援多機能型事業所の立ち上げに参画、現在チャイルドケア事業部ディレクター

10月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)
例会出席 メン 22名 コメント 1名(丹後修さん)
ゲスト3名(梶原宏之様・大澤祥子様・中田純子様)
出席率 76% ドライバーファンド 3,260円



猛威を振るって私たちを苦しめていた新型コロナウイルス感染症が全国的に激減し、山梨県内でも感染者数ゼロ人の日が続いたりしているため、今年山梨YMCAチャリティーランが形態を変えながらも実施される予定です。私たちの信条である「青少年のためにYMCAにつくそう」とおり、YMCAへの奉仕活動ができることは大きな喜びです。

山梨YMCAの事業形態はここ数年間で様変わりしており、新会館に移転してからはより一層ステップアップしているように感じます。大きくは①チャイルドケア事業、②生涯学習事業、③高齢者福祉事業、④同じ目的を有する団体の支援事業、に分けられていますが、内容は進化しており新しい職員も増えています。聖書の「新しい酒は新しい革袋に盛れ」に則った成長ぶりに感じます。

ところで、不易流行と云う言葉があります。「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。」とも解されている言葉です。私たちワイズメン(甲府クラブ)も山梨YMCAの進化をしっかりと理解して、新しい変化を取り入れ重ねていく「流行」こそが「不易」につながる。クラブの成長につながる道ではないでしょうか?

まずは当面のチャリティーランを成功させましょう。ご協力をお願いします。

10月例会報告

10月12日(火)18:45から3か月ぶりとなる例会がスタートしました。会場は久しぶりの談露館での開催でした。3か月ぶりということ、卓話が興味深い内容であったこともあり、出席率の良い例会となりました。みんなスタート前にはワイワイとあいさつを交わしていました。石川和弘会長の点鐘で始まりました。ワイズソングは1番だけを小さな声で歌い、ワイズの信条も司会者が読み上げました。会長より、卓話者である梶原宏之氏、大澤祥子氏、中田順子氏、日川高校でラグビー部に所属していて、梶原氏にお世話になった丹後修コメントが紹介されました。

今月の言葉、食前の感謝が小倉会員により行われ、ワイズディナーになりました。まだまだコロナ禍であるということで今回もお弁当でのディナーとなりました。ディナー終了後は卓話でした。



10月の卓話は宮川会員の紹介で山梨学院大学ラグビー部監督の梶原宏之氏による「ラグビーを通じた人づくり～One for all All for one」でした。梶原氏のラグビーでの活躍された話や、山梨県に戻ってからのお話、ワールドカップでのお話など、どれも興味深い内容でとても楽しく聞き入ってしまいました。(写真・右)50分ほどの卓話もあっという間に終わり、諸連絡に移りました。

11月開催の山梨YMCAバザーとチャリティーランについて露木総主事より説明がありました。また、バザーの手伝いについて廣瀬書記より説明があり、出欠の確認表が回覧されました。田草川会員からは、故大澤英二氏一周忌記念講演について連絡がありました。

最後に山梨YMCAの中田順子さんについてあまり知らない会員もいたので、露木総主事より詳しく紹介されました。甲府ワイズの歌を1番だけ小さな声で歌い、石川会長より甲府ワイズの歌を作詞した故秋山平会員のお誘いでワイズに入会した旨の話があり閉会点鐘で終わりました。(丹後佳代)

★ニコニコメッセージから 皆さん、久しぶり!

今月のニコニコメッセージは大澤祥子さん・鈴木健司さん・田草川すみ江さん・丹後佳代さん・渡辺徳之さんからいただきました。皆さん「久しぶり」という言葉で綴っていました。代表して鈴木さんのメッセージを掲載します。

★**久しぶり**に皆さんに会える事になったので頑張ってお出しました。コロナ禍もこの状況で沈黙してもらいたいと願う心境です。9月18日が誕生日で86歳になりました。ワイズの例会と教会の出席を続けられるようにと祈っています。YMCAの活動とワイズの活動が盛んになるよう祈ります。



10月役員会報告

◎10月26日(火) 18:30～19:40 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・田中・渡辺・廣瀬・田草川・小倉・マウントフォード・標・仙洞田

【報告事項】

▽10月例会について:左欄例会報告参照

▽あずさ部部大会について:次ページ参照

▽10月15日 第3回YMCAバザー・チャリティーラン合同実行委員会:出席者・石川和、渡辺、小倉、廣瀬

【協議事項】

▽YMCAバザーについて:甲府クラブはびっくり市、果物、北海道バター、昆布の販売及び駐車場係、値付け等準備期間は10/30(土)～11/2(火)の4日間

▽11月例会について:担当・地域奉仕委員会、小倉委員長よりプログラムの説明があり承認

▽12月例会(担当・クラブサービス・プログラム委員会)一部礼拝、二部例会、三部についてはコロナの状況を見て判断

▽新年例会は甲府21が当番 (書記・廣瀬静男)

第4回YMCAバザー・チャリティーラン実行委員会

▽チャリティーランについて

競技内容に関し①コースは競技場内のみ②ラッフル券は例年通り③大人と子供でチームを組むが、大人は順位をつけないの3点を決定。次回実行委員会はバザー反省会と同時に11月12日(金)18:00より行う。

あずさ部部大会報告

第25回あずさ部憩いの森部大会が、10月16日(土)午後1時30分からリモート形式で開催されました。

長谷川あや子部長の挨拶では、「あずさ部のエリアは広域に亘るので皆さんに会うのを楽しみにしている。コロナで恒例行事が相次いで中止となり寂しいが、ブリテンで各クラブの様子を知る事が出来る。こんな時だからこそ、絆を深め、友だちに声を掛けて、愛と協力で前進しましょう」と呼びかけました。

来賓、区役員の紹介の後、東京YMCA菅谷淳総主事の祝辞では、ニューヨークリハビリテーション研究所の壁の詩(苦難にある者たちの告白)が紹介されました。



記念講演は、東京八王子クラブ会員の並木真さんの「Do you 農? タネと野菜のエトセトラ」というもので、種苗会社にお勤めの経験から、最近ワイズでもブームの野菜作りのヒントをお話されました。私も甲府クラブで2006年から始めた「ワイズ農園」に関わってきま

したので、興味深く拝聴しました。マルチは黒いものとばかり思っていたのですが、グリーンが良いというのは初めて知りました。

第2部では、各事業主査から担当事業の報告、依頼事項が話され、参加クラブの紹介、アピール等があり、

午後3時半過ぎに閉会となりました。

今回はZOOMという綴じられた空間での開催でしたが、空間を超えた繋がりを感じた会でした。

参加者は74名、甲府クラブからは、石川会長、小倉、標、廣瀬、仙洞田の5名でした。(仙洞田安宏)

東日本区第4回拡大EMC委員会報告

あずさ部 EMC 事業主査 標 克明

2021年10月28日(木) 19:00~20:00 Zoom会議で委員会が開催されました。参加したのは20名で大久保理事の挨拶から始まりました。

活動報告について大川主任から各クラブ報告を出来るだけ提出してもらえよう部長にお願いがありました。次に各部のエクステンション委員会の報告が北から順次ありました。コロナ禍で活動が制限されているので、動きがないところが多く苦戦しているという報告が多かったのですが、このところの感染者数の減少傾向をみると、これから活動に期待が持てそうという意見もありました。

ナイトフォーラムの報告は、第1回と第2回の参加者はほぼ同じ人数でしたが、今回はワイズ以外の参加者をもう少し多くしたい、また後のフォローもしっかりとお願いしたいと報告がありました。

これからの行事予定

11月14日(日) 山梨YMCA・甲府YWCA合同祈祷会
11月24日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
11月27日(土) 山梨YMCAチャリティーラン
12月14日(火) クリスマス例会(ホテル談露館)

メンバーズニュース

★ 鶴田さん、山梨県体育功労者受賞

今年度の県体育功労者に鶴田一郎会員が選ばれ、県スポーツ協会から表彰されました。鶴田さんは、水泳の選手、指導者として地域スポーツ振興に貢献、市主催の水泳教室を指導するなど永年にわたり競技の普及に力を尽くしました。(10月30日・山梨日日新聞掲載より)

★ 神山さん、ワインエキスパートに

日本ソムリエ協会の認定資格「ワインエキスパート」を神山玄太会員が取得しました。ワインと関係のない職業についている人にも「ソムリエ」と同等の資格を付与しようというもので、難関な試験を見事クリアしました。

他クラブ情報 @ ブリテン拾い読み

▼甲府21 9月例会で入会式があり、会員数50名を達成、あずさ部での50人超えは甲府クラブの2000年6月の53名以来です。

▼富士五湖 11月27日・28日とDBC(京都洛中クラブ)との移動例会で伊豆高原へ、そのため山梨YMCAチャリティーランへの参加は出来ないとのこと。

▼東京たんぽぽ 東京YMCAのLiby(子どもたちのためのオープンスペース)支援のためのファンド「青森りんご」の購入を受付中。1箱(18~20個)3,500円(送料込み)を予定、申し込みは同クラブの服部節子さんへ



談話室

「子供たちへの期待」

根津 宏次

朝晩肌寒い季節となり、今年も残り僅かと年々一年を過ごす感覚が短くなっていますが、コロナ禍に入ったこの期間のプライベートではとても長く不思議なギャップを感じています。

今年小学校を卒業した下の娘は中学校に進学しました。小学校での修学旅行は中止、短縮された卒業式や入学式、賑やかであるはずの新しい学校生活はオンラインで始まりました。学校生活は戻ってきてはいるものの感染増減を繰り返す中で、今一番楽しい時期を過ごすはずの子供たちは思い切った活動ができず、親としても残念に感じています。ただそのような環境下でも子供たちは最大限の注意と工夫の中で連絡を取り遊んでいます。

近年、情報化の進展やAIの飛躍的な発達により、社会は大きく、そして激しく変化しています。身の回りの物のほとんどがインターネットと結びつき、今までできなかったことが簡単にできる時代を予感させます。そのような予測困難な時代であっても、子どもたちには前向きに変化を受け止め、より良い豊かな未来の担い手になっていくことが期待されています。

これからは、一つの知識だけでなく組み合わせや関連付けをすることのできる応用力、必要な情報を収集・蓄積・選択できる思考力と判断力、物事を的確に伝えるための表現力、そして受動的な学習から自分で考え、仲間と話し合いながら学びを深めていく主体的な力が求められます。このコロナ禍での経験が、これからの社会の変化に対し、生き抜くために必要な資質や能力、そして一番大事な人間性を育んでほしいと願っています。

11月アニバーサリー

石原祥平・靖子 (5日) 宮川真有・啓一郎 (25日)
ピーター マウントフォード・内藤いづみ (25日)

11月 ハッピーバースデー

メン:北条 繁寿(2日) 中澤 大 (12日)
ピーター マウントフォード(13日)
丸茂 正樹 (30日)
メネット:山崎 明子(3日) 荒川 宏枝 (25日)



はじめての2大イベント 同月開催

山梨YMCA 総主事 露木淳司

バザーとチャリティーランというYMCAの2大イベントが同じ月の開催となり、その準備をほぼ同時に進行していくというのは、私にとっても山梨YMCAにとっても初めての経験です。今、バザー開催直前、まだどちらのイベントもどうなるかわからないという状態で、この原稿を書いています。同時に二つの本部事務局の作業をこなすということが、いかに至難の業であるかということは、10月に入ってから否応なく襲ってきた業務量の多さで実感させられています。もしかすると共にパンクして、どちらも失敗に終わるかもしれない。言いようのない不安に駆られます。印刷物の作成、広報活動、渉外活動、後援や協賛の依頼、備品調達、実行委員会の運営……。途方に暮れるばかりです。

ただ、私は確信しています。どちらも問題なく素晴らしいイベントになるだろうと。その根拠は何かと言えば、山梨YMCAはワイズメンズクラブと共にある、ということにほかなりません。この確信は3回、4回と実行委員会を重ねるごとに強いものになってきました。ダブル開催に加えて、コロナ禍にあるということが、さらに困難さを高めています。ワイズメンの皆様が細部にわたって、その解決に向けて知恵と力を結集させてくれています。スタッフだけでは到底こなさきれない大規模なイベント運営ですが、皆様の多種多様な専門性と豊かな人生経験をベースに、無限に可能性を広がっていくのです。

残り僅かの準備期間、コミュニケーションを密に取り合いながら、共に地域のために貢献していきたいと願っています。

《今月のことばについて》～根津宏次

岸田新総裁が自民党総裁選公開討論会において選挙戦に臨む自身の心情や信念を揮毫した「天衣無縫」という言葉を選びました。天衣無縫とは、天人の衣服には縫い目の跡がないことから、わざとらしい技巧の跡が見えず、自然でありながら完全で美しいことを形容する言葉だそうです。今、新型コロナウイルスの影響で政治の判断が国民生活を大きく左右する重要な局面となっております。飾らない自然な性格が国民の信頼を勝ち取り、明るい未来へ向かって進んでいくことに期待いたします。(10月12日・記)